

## Cyber Port とは

Cyber Port(サイバーポート)は、紙、電話、メール等で行われている民間事業者間の港湾物流手続を電子化することで業務を効率化し、港湾物流全体の生産性向上を図ることを目的としたプラットフォームです。

※今後、港湾に関わる各種行政手続情報の電子化(港湾管理分野)や施設情報等の電子化(港湾インフラ分野)も進める予定です。

## 現状の港湾物流手続における課題

- ✓ 港湾物流手続は、各社のグループ内や特定の事業者間での電子化は進んでいるものの、港湾物流に関わるいずれの業種においても、約5割の手続が依然として紙、電話、メール等で行われているのが現状です。このため、紙やPDFの情報を電子化するための再入力作業や、情報や手続状況の電話問い合わせなど、非効率な作業が発生しています。
- ✓ また、同様の手続でも事業者毎に書類様式・項目や接続方法が異なるため、これらに個々に対応する必要が生じています。

## Cyber Portの特長とメリット

### 1 | 港湾物流手続の電子化

民間事業者間において紙、電話、メール等により行われている港湾物流手続が電子化され、書類の作成・送信、データの取得・再入力、問い合わせ等に要する時間が削減できます。また、事業者間で異なる書類様式・項目や接続方法への対応が不要となることで、システム改修費用が節減できます。

### 2 | 手続のトレーサビリティ確保

民間事業者間の港湾物流手続の進捗状況が可視化されます。また、従来よりも早いタイミングでのデータ取得、関係者共有が可能となり、手続の待ち時間短縮による業務の効率化や顧客へのサービス向上が可能となります。

### 3 | 各社の事情に応じた利用方法の提供

各社の事情に応じて、①各社のシステムを通してCyber Portを操作する方法(情報連携API)と、②インターネット上のCyber Portの画面(GUI)を直接操作する方法の2通りの利用方法が選択できます。これにより、各社のこれまでのシステムへの投資を無駄にせずCyber Portが利用できるとともに、在宅での物流業務が可能となり、ウィズコロナ時代に対応した業務環境が実現します。

### 4 | 様々なシステムやプラットフォームとの連携

Cyber Portを通してNACCSの手続を行うことが可能となれば、港湾物流手続と税関手続のワンストップ化が可能となります。また、様々なプラットフォームとの連携により、更なる業務の効率化が期待できます。

### 5 | データの提供・活用

Cyber Portの集計データを活用することにより、港湾物流業務の効率化等が期待できます。また新たな港湾政策・物流政策の立案にも役立てていきます。

※第一次運用を開始する令和3年4月時点では「データ提供・活用機能」は運用していません。今後、実装に向け取り組んでいきます。

## Cyber Portの利用方法等

- ✓ Cyber Portのポータルサイト(<https://www.cyber-port.net>)からの利用申請が必要です。
- ✓ 第一次運用開始後、当面の間は、**Cyber Portの利用料金は無料**です。